



ROCK PAINT

弱溶剤二液型変性エポキシシーラー

エメロックシーラー (透明・ホワイト)

- 素地によく浸透し、すぐれた付着性を発揮
- ターペン希釈タイプで幅広い旧塗膜に対応

特長

- **浸透性にすぐれる**
特殊な変性エポキシ樹脂を使用しているため、各種素地によく浸透します。
- **付着性にすぐれる**
ぜい弱素材の表面を補強するとともに、すぐれた付着性を発揮します。
- **塗装面の中酸化抑制**
水分や炭酸ガスの浸入を防ぎ、コンクリートなどの中酸化を防ぎます。
- **ターペン希釈型**
溶解力の弱いターペン系溶剤を使用しているため、旧塗膜を侵しにくく、活膜状態の各種旧塗膜に直接塗装が可能です。
- **臭気がマイルド**
においがマイルドなため、周辺地域や作業者の環境にも配慮した塗料です。

適応素地

- コンクリート、モルタル、フレキシブルボード、窯業系サイディングボード、けい酸カルシウム板、住宅用化粧スレート(各種新屋根材)など

適応旧塗膜

- 各種水性・溶剤型塗膜の屋内外塗り替え用として
(ただし、シリコン・フッ素樹脂系の旧塗膜には使用できません。また種類によってはリフティングを起こすことがありますので、塗装前に試し塗りを行ってください。)

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

日本建築学会材料規格

JASS 18 M-201
適合品

ロックペイント

ユメロックシーラー(透明・ホワイト)

弱溶剤二液型
変性エポキシシーラー

適応上塗り塗料

- 水性塗料：ハイパービルロックセラ、サンフロンアクア、ピニロックウレタン、ユニロックハイグロス、ロック水性プロテクトルーフなど
- 弱溶剤塗料：ユメロック、ハイパーユメロック、サンフロンUV、ユメロックルーフ、サンフロンルーフなど
(1液ユメロックルーフを除く1液弱溶剤型の塗料は上塗りとして使用できません。)
(この他詳細な上塗り塗料については、当社営業迄お問合せください。)

品番・容量

主 剤：033-5150 ユメロックシーラー 主剤 12.5kg
033-5110 ユメロックシーラー ホワイト 主剤 12.5kg
硬化剤：033-5910 ユメロックシーラー 硬化剤 2.5kg

使用方法

- 塗装方法：ハケ、ローラー、エアレス
- 希 釈 率：(透 明)0%(通常不要)
(ホワイト)0~10%(塗料用シンナー)
- 配合比(重量)：主剤：硬化剤 = 5 : 1
- 乾燥時間

気 温	5℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	約1.5時間	約1時間	約45分
上塗り可能時間	8時間以上	4時間以上	3時間以上
	7日以内	7日以内	3日以内

各数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや考慮に入れた数値です。下地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

- 塗り回数：1回
- 標準塗付量：(透 明) 0.08~0.13kg/m²・回 (115~187ml/15kgセット・回)
(ホワイト) 0.10~0.13kg/m²・回 (115~150ml/15kgセット・回)

気 温	5℃	23℃	30℃
可使時間(無希釈)	10時間	7時間	4時間

硬化剤を配合した塗料は次第に粘度が高くなり、やがて固化して使用できなくなります。
上記を目安に配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
可使時間を過ぎた塗料は正常な塗膜性能を発揮できません。

施工上の注意

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやはがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜が出来にくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 大きな素穴、目違い、不陸、クラックなどは、セメントフィラー、樹脂モルタルで補修してください。(補修後はシーラーを塗装してください。)
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 飛散防止のため、必ず養生を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りすることをお勧めします。旧塗膜のチョーキング層は高圧洗浄で除去してください。
- 旧塗膜の種類により、シーラー塗装後リフティング(ちぢみ)を起こすことがあります。塗装前に試し塗りを実施してください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれなどが発生することがありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗装間隔を守ってください。塗装間隔が長くなりますと付着性が低下して上塗り塗料と層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- 高温下では硬化反応が著しく早くなります。塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- シーラー塗装後、使用方法の上塗り可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、アミンブリード(黄変)、塗膜不良を起こすことがありますので、必ず所定の時間を守って上塗り塗装してください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆タイプです。塗装工程上 F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので施工上の注意に従って使用してください。
- 塗装時および塗装後は換気を良くしてください。密閉した室内では乾燥が遅くなります。また水のかかる場所は塗装後24時間以上(23℃の場合)乾かしてからご使用ください。
- 素地の吸い込みが大きい場合、ぬれ感が出る程度が適量です。素地の下地処理、含水率などにより塗付量が大幅に変わります。あらかじめ試し塗りをし、所要量を確認してください。
- 塗り重ね時間は素地の吸い込み程度により大きく異なる場合があります。
- 可使時間は厳守してください。混合後反応が進むと含浸性が低下します。
- 上塗り塗料に合成樹脂調合ペイントや1液弱溶剤型塗料は使用できません。
- コンクリート、モルタル、窯業系サイディングなど吸い込みの小さい素地に塗装する場合、必要以上に厚塗りすると剥離の原因となりますので注意してください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒の処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポ(弱溶剤2液型)を下塗りとした仕様がありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、われの原因となりますので避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シーリング材が完全に硬化したものとし、塗り重ね性を確認し必要な処理を行ってください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- アスファルトシングル材、洋風瓦(モニル瓦、スカンジア瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)への塗装は避けてください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- このカタログに記載されている適応上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

安全衛生上および取扱い上の注意

- [製品の危険・有害性]
- 引火性の液体である。
 - 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
 - 大量または継続的な暴露により健康障害を引き起こすおそれがある。
 - 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
 - 感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こすおそれがある。
- [救急処置]
- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは、医師の診察を受けてください。
- [施工後の安全性について]
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなど立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

- [取扱い注意事項]
- 取扱いは引火源のないところでを行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
 - 取扱い作業所には局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分に換気をしてください。
 - 溶剤蒸気やスプレーダストを吸い込まないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
 - できるだけ皮膚に触れないよう、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
 - アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
 - 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分にを行い、作業着等に付着した汚れをよく落とすようにしてください。
 - よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
 - 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
 - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
 - 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

※安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。



ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304
仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 凌正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255
西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <http://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店